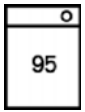
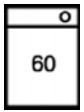
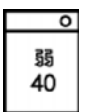
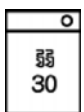




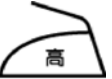

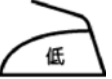












ご存知ですか？

衣類等の取扱い絵表示

衣類には、洗濯の仕方やアイロンのかけ方などの適切な取扱方法を表示した「取扱い絵表示」が
 ついています。大切な衣類を傷めないために、洗濯をする前は、必ずこの絵表示を確認しましょう！

洗い方			
	液温は、95℃を限度とし、洗濯機による洗濯が出来る。		液温は、60℃を限度とし、洗濯機による洗濯が出来る。
	液温は、40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い（振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある）がよい。		液温は、30℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い（振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある）がよい。
	液温は、30℃を限度とし、弱い手洗い（振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある）がよい。（洗濯機は使用不可）		
	水洗いはできない。		
塩素漂白の可否			
	塩素系漂白剤による漂白ができる。		塩素系漂白剤による漂白はできない。
アイロンのかけ方			
	アイロンは210℃を限度とし、高い温度（180～210℃まで）で掛けるのがよい。		アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度（140～160℃まで）で掛けるのがよい。
	アイロンは120℃を限度とし、低い温度（80～120℃まで）で掛けるのがよい。		アイロン掛けはできない。
ドライクリーニング			
	ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロロエチン又は石油系のものを使用する。		ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のものを使用する。
	ドライクリーニングはできない。		
絞り方			
	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞るのがよい。		絞ってはいけない。
干し方			
	つり干しがよい。		日陰のつり干しがよい。
	平干しがよい。		日陰の平干しがよい。

●「取扱い絵表示」は、「家庭用品品質表示法」に基づき日本工業規格（JIS）で規定されています。海外の衣料品についてはISO（国際標準化機構）で規定する取扱い絵表示が用いられています。

●詳しくは、経済産業省のホームページ

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/hinpyo/guide/wash.html>をご覧ください。